

令和3年度「大気環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

推薦者	団体	個人	主な功績
長野県		はらだ つとむ 原田 勉	昭和53年4月に長野県職員に採用され、保健衛生分野も経験しながら有害大気汚染物質や酸性雨の測定、調査研究に従事した。特に、酸性雨の調査研究においては、環境省から長野県に管理を委託されている国設八方尾根酸性雨観測所の管理、分析業務を担当して得られた測定結果と県内の観測点の調査結果をまとめて、県内の酸性雨の実態を明らかにするなど多くの成果を成し遂げた。また、全国環境研協議会の共同研究として現在も継続して行っている酸性雨全国調査に長野県が参画する際には主担当者として力を尽くして礎を築き、平成23年度からは長野県環境保全研究所の部長を務め、その実績と技術をもって研究所職員の技術伝承に尽力し、長年にわたり長野県の大気環境保全に大きく貢献した。
大阪府		たにぐち やすひこ 谷口 靖彦	大阪府環境影響評価条例の制定や技術指針の策定にあたり中心的な役割を果たすなど、環境影響評価行政に長年にわたって尽力し、大気汚染や騒音振動をはじめとする環境影響を最小限にとどめるとともに、持続的発展が可能な社会の構築に取り組んだ。また、微小粒子状物質(PM2.5)の常時監視体制・注意喚起体制の構築や、アスベストの飛散防止対策における関係団体との連携体制の構築に尽力するなど、大阪府の大気環境・騒音振動保全行政に大きく貢献した。府を退職した現在においても、国の審議会の委員を務めるなど、全国における大気環境・騒音振動保全行政の推進に尽力している。

団体 0      個人 2      合計 2